



令和5年度 環境経営活動レポート

[対象期間：2023年4月1日 ～ 2024年3月31日]



一般廃棄物収集運搬委託・許可業者

株式会社 那珂川開発

2024年4月17日

はじめに

本環境経営活動レポートは、2023年4月1日から2024年3月31日までの環境経営活動の結果をまとめたものです。

(挨拶)

株式会社那珂川開発は創業以来、那珂川市において一般廃棄物収集運搬を中心とした、安心・安全の事業活動を行ってまいりました。

地球環境保全に基づいた省資源・省エネルギーの推進が急務な課題となっている中、当社においても廃棄物の排出削減など環境負荷を低減させる責任と使命を痛感しております。

2009年以来、当社は廃棄物の分別の徹底及び排出削減など環境保全を推進する事を目的とし、エコアクション21への取組みを続け、地球環境に優しい地域密着型の事業活動に努め、社会的要請に応えてまいりました。

ここに当社の環境保全への取組みの成果を「環境経営活動レポート」にまとめましたので、ご高覧ください。

目次

I. 当社の概要	1～3
II. 認証・登録範囲	4、5
III. 環境経営方針	6
IV. 環境経営目標	7
V. 環境経営活動計画の内容	8
VI. 環境経営活動計画に基づき実施した取り組み内容	9
VII. 環境経営目標の実績	10～13
VIII. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	14、15
IX. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	16
X. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し、指示	16

I 当社の概要

1. 会社名及び代表者氏名

株式会社 那珂川開発 代表取締役社長 津屋 雅臣

2. 所在地

本社
〒811-1224 福岡県那珂川市大字安德 59-2



3. 法人設立年月日

昭和 58 年（西暦 1983）7 月 27 日

4. 資本金

1,000 万円

5. 環境管理責任者、担当者氏名及び連絡先

環境管理責任者：代表取締役社長 津屋 雅臣
EA21 事務局：代表取締役専務 津屋 博臣
TEL：092-952-9003
FAX：092-952-9007

6. 対象活動

- ① 那珂川市より委託を受けた一般廃棄物収集運搬業務（家庭系・事業系一般廃棄物）
- ② 一般廃棄物中間処理施設・啓発プラザの管理運営業務（エコピア・なかがわ）

7. 事業の規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
年商		区分A	区分A	区分A	区分A
収集運搬量	t	14,630.48	14,841.26	14,863.53	14,590.28
従業員	人	47	47	47	46
床面積	m ²	1,554	1,554	1,554	1,554

・保有車両：31台

塵芥車（パッカー車11台、4tダンプ1台、アームロール1台）13台／
 キャブオーバー（軽トラック）2台／2tパワーゲートトラック1台／
 営業車2台／軽バン1台／乗用車10台
 （そのほか）トラクターショベル（WA100-3）1台
 フォークリフト（FD18T14）1台

8. 許可一覧

- ・福岡県那珂川市一般廃棄物収集運搬業許可証（許可 第1号）
許可期間 令和4年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
- ・福岡県春日市一般廃棄物収集運搬業許可証（許可番号 第23号）
許可期間 令和4年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
- ・福岡県福岡市一般廃棄物収集運搬業許可証（許可番号 第45号）
許可期間 令和4年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
- ・福岡県産業廃棄物収集運搬業許可証（許可番号 04000012140）
許可年月日 令和5年5月12日 有効期限年月日 令和10年5月11日
- ・福岡県粕屋郡久山町一般廃棄物処理業許可証（久清4-22号）
許可期限 令和4年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

9. 加盟団体

- ・全国清掃事業連合会
- ・福岡県清掃事業協同組合連合会
- ・筑紫地区清掃事業協同組合

10. 処理実績

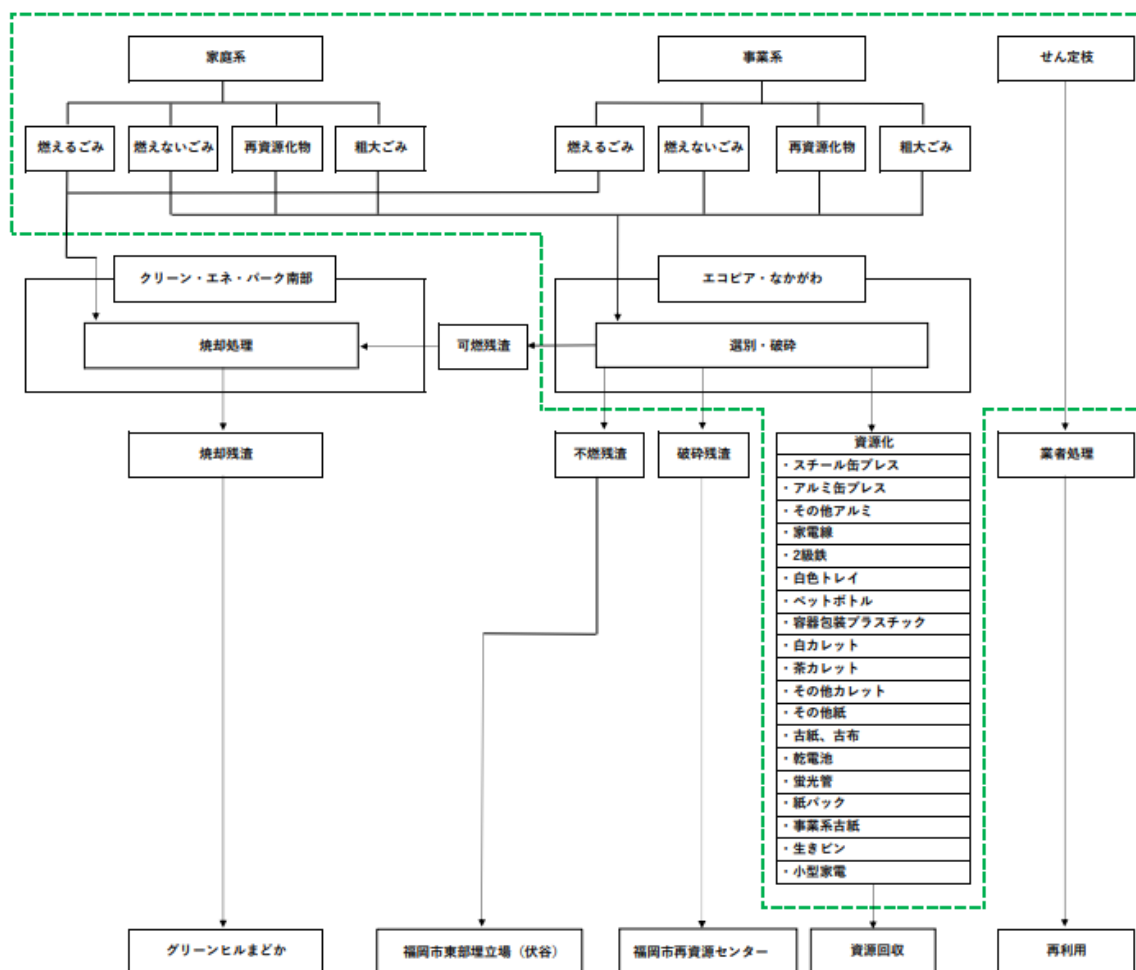
- ・ 那珂川市一般廃棄物収集運搬委託業務実績 (2023年4月1日 ~ 2024年3月31日)
 - 一般廃棄物収集運搬 14,590.28 t
 - 産業廃棄物収集運搬許可業務実績 業務実績なし

なお、受託した収集運搬業務にかかる事業活動内容を次に示す。

受託した一般廃棄物の処理量 (2023年4月1日 ~ 2024年3月31日)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)
那珂川開発 収集運搬	家庭系ゴミ (可燃ゴミ・不燃ゴミ)		10,614.10
	事業系ゴミ (可燃ゴミ・不燃ゴミ)		3513.26
	事業系ダンボール		308.47
	粗大ゴミ		53.82
	不法投棄処理等		100.63
収集運搬量合計			14,590.28

処理フロー図



Ⅱ 認証・登録範囲

1. 対象範囲：全組織

会社名 株式会社那珂川開発 本社

所在地 〒811-1224 福岡県那珂川市大字安德 59-2

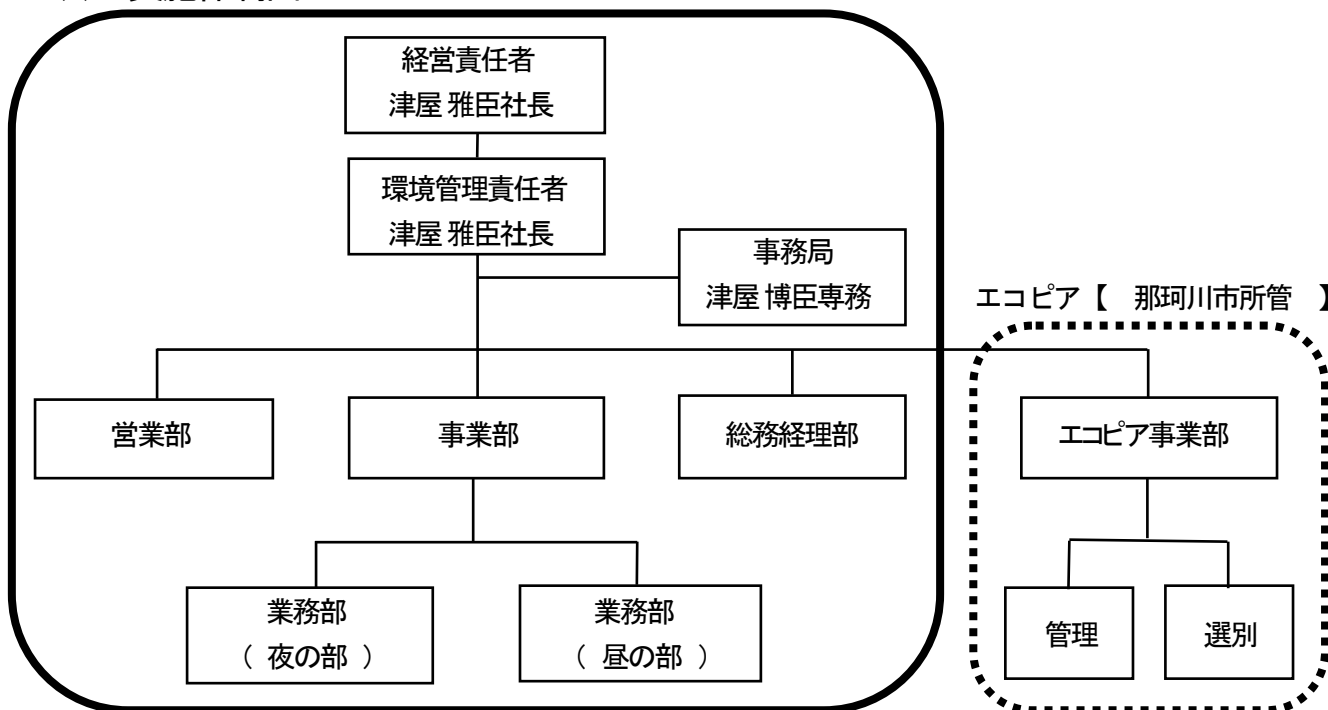
連絡先 TEL 092-952-9003 FAX 092-952-9007

2. 事業活動

一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物中間処理施設・啓発プラザの管理運営業務

3. 対象組織

(1) 実施体制図



(2) 役割分担表

【職名・役割】

職名	役割
経営責任者	<p>【代表取締役社長】</p> <p>①経営における課題とチャンスを確認にする。 ②環境経営方針を定め、見直しを行う。 ③環境管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。 ④要員と所定の技能、技術と資金の経営資源を確保する。 ⑤環境マネジメントシステムの有効性を評価し、見直しを行う。</p>
環境管理責任者	<p>【代表取締役社長】</p> <p>①環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理する。 ②社内外の環境情報(法規制を含む)の調査、伝達、広報を実施し、法規制及びその他の要求事項について遵守評価を実施する。 ③環境に関する教育、訓練を企画し役員会議を統括する。</p>
事務局	<p>【専務取締役】</p> <p>事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
定期役員会	<p>経営責任者・環境管理責任者・事務局で構成し、隔月1回環境管理者が召集する。 環境経営目標・経営活動計画の策定及び、進捗状況について管理する。 環境管理責任者が必要と認めた者は出席することが出来る。</p>
提案改善委員会	<p>各課で週1回開催し、環境経営目標・経営活動計画の策定及び、進捗状況について管理する。</p>

Ⅲ 環境経営方針

企業理念

株式会社那珂川開発は、福岡県那珂川市の一般廃棄物収集運搬業務・許可業務及びエコピア・なかがわの管理運営業務を受託しており、循環型社会形成における重要な役割を強く認識し、その責任を確実に果たして参ります。

また、安全かつ適正な処理は当然のこととして、当社の事業活動が地域に密着した活動であることをふまえ、環境保全を基本とした住民サービスの質の向上に努め、地域社会の期待に率先して応えとともに、環境経営の継続的改善を実施します。

これらの企業理念に基づいて以下の環境経営方針を定め、広く一般に公開いたします。

環境経営方針

1. 環境関連の法規制及び当社が地域社会やお客様と約束した事項を順守します。
2. この方針を実現するために以下のテーマを設定し、部門ごとの目的及び目標として展開します。
 - ① 省資源及び省エネルギーの推進
 - ② 廃棄物の分別の徹底及び排出削減
 - ③ 住民サービス品質の向上
3. 環境マネジメントシステムを構築・運用することによりシステムの継続的改善を図るとともに環境汚染の予防に努めます。
4. この方針は全従業員及び当社のために働く人々に周知します。

制定 2008年 1月29日

改定 2020年 4月 1日

株式会社 那珂川開発
代表取締役社長 津屋 雅臣

IV 環境経営目標

2021年度から2023年度までの環境経営目標は以下の通り設定しています。

二酸化炭素排出量、一般廃棄物排出量、水資源使用量、事務用品等のグリーン購入はこれまでの取り組みによる効果を考慮し、2020年度実績を基準として、前年度目標比1%削減する目標を設定しています。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、2018年度九州電力(株)の調整後排出係数0.347kg-CO₂/kWhを用いています。

小数点以下四捨五入

本 社					
目標項目		2020年度 (実績)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)	2023年度 (目標)
		基準年	2020年度実績比 1%削減	2021年度目標比 1%削減	2022年度目標比 1%削減
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		248,659	246,172	243,711	241,273
一般廃棄物の削減 (kg)		320	317	314	310
水資源使用量の削減 (m ³)		886	877	868	859
グリーン購入	文房具 (%)	100%	100%	100%	100%
本業における環境配 (回)		1	4	4	4

エコピア・なかがわ					
目標項目		2020年度 (実績)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)	2023年度 (目標)
		基準年	2020年度実績比 1%削減	2021年度目標比 1%削減	2022年度目標比 1%削減
一般廃棄物の削減 (kg)		346	342	339	336

V 環境経営活動計画の内容

1. 廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量の削減

環境活動項目
アイドリングストップの徹底実施
空ふかしを行わない。
急発進、急加速を行わない。
法定速度の厳守、一定速度運転
車両出庫時の日常点検実施

2. 電力の使用節減による二酸化炭素排出量の削減

環境活動項目
事務所、車庫休憩室での休憩時間の消灯
未使用時の設備電源 OFF
冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）
省エネ機器への切り替え導入
排風ファン等の使用を控える。

3. 水資源の適正使用への管理

環境活動項目
車両洗車時、大きなゴミを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する。
給湯使用時のムダをなくす。
トイレタンク容積水量調整による使用量の削減

4. 廃棄物の排出削減

環境活動項目
排出量の管理
紙類の使用量の削減
再生紙の使用推進
両面活用

5. グリーン購入の推進

環境活動項目
低環境負荷商品（文房具）の購入推進（本社）
低環境負荷商品（コピー用紙）の購入推進（エコピア）

6. 本業における環境配慮

環境活動項目
教育訓練の実施
啓発活動の実施

VI 環境経営活動計画に基づき実施した取り組み内容

1. 収集運搬車両について

- 各車両に安全の観点から、急発進及び急加速を防止する項目として、車両管理システム（タコメーター等）の設置をおこないました。



デジタコ



LEDライト

2. 電力の使用節減について

- 本社車庫内外の蛍光灯を一部LED照明に変更しました。今後も引き続き変更していきます。



車庫



外灯

3. 水資源の適正使用について

- 各箇所に設置してある、蛇口及びシャワー使用箇所等に節水意識を高めるため、標記をおこない、節水に努めています。



手洗い場



シャワー室

4. そのほかの取り組みについて

① 防犯パトロールの実施

- 那珂川市の不要品回収は、昼間に再資源化物の回収、夜間に可燃物の回収があり、防犯パトロールを警察署監修のもと実施している。

② 事務所コピー機 印刷ミス防止機能の活用

- 印刷ミスをなくす取り組みとして、2段階認証機能を全てのパソコンで活用している。

VII 環境経営目標の実績

2023年度、環境経営目標の実績は以下のとおりです。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、2018年度九州電力(株)の調整後排出係数0.347kg-CO₂/kWhを用いています。

小数点以下四捨五入

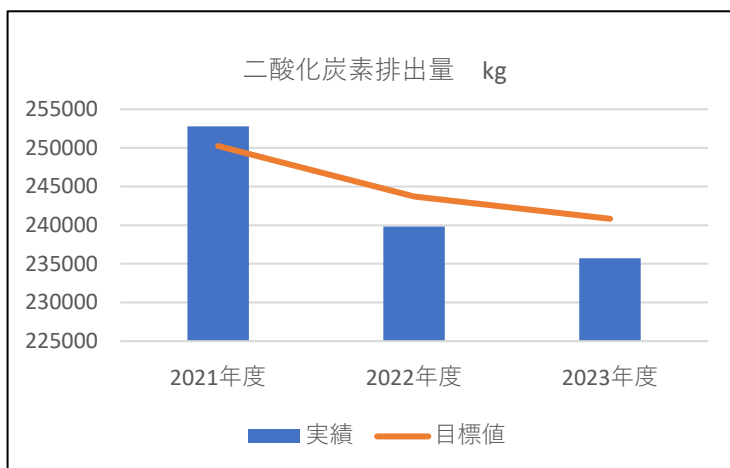
本社				
目標項目		2023年度		
		目標	実績	達成率
		2022年度目標比 1%削減		
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		241,273	235,701	102%
①	電力使用量の削減 (kw)	39,622	50,419	73%
②	燃料使用量の削減			
②-I	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	5,865	5,651	104%
②-II	軽油使用量の削減 (ℓ)	80,787	77,270	104%
②-III	灯油使用量の削減 (ℓ)	1,480	1,296	112%
②-IV	LPG使用量の削減 (kg)	601	840	60%
2. 一般廃棄物の削減 (kg)		310	307	101%
3. 水資源使用量の削減 (m ³)		859	1,077	75%
4. グリーン購入	文房具 (%)	100%	100%	100%
5. 本業における環境配慮 (回)		4	2	50%

エコピア・なかがわ				
目標項目		2023年度		
		目標	実績	達成率
		2022年度目標比 1%削減		
2. 一般廃棄物の削減 (kg)		336	354	95%

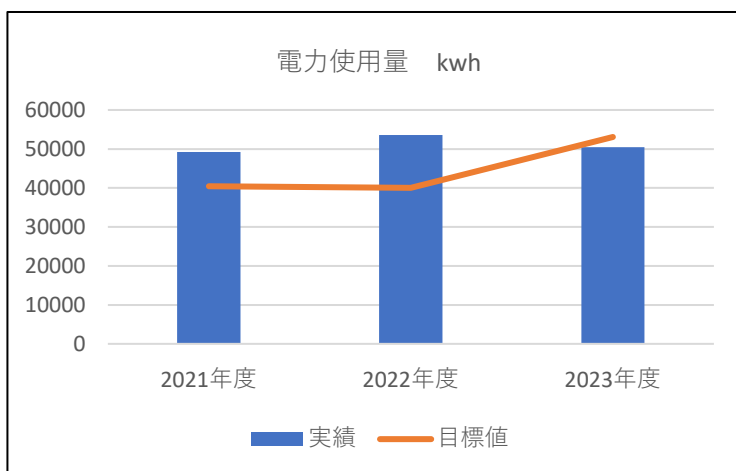
削減目標達成率計算式 $(((\text{目標} - \text{実績}) / \text{目標}) + 1) \times 100\%$

増加目標達成率計算式 $(\text{実績} - \text{目標} / \text{目標} + 1) \times 100\%$

1. 二酸化炭素排出量の削減・・・目標値は達成しているが、LPG使用量が増加している。

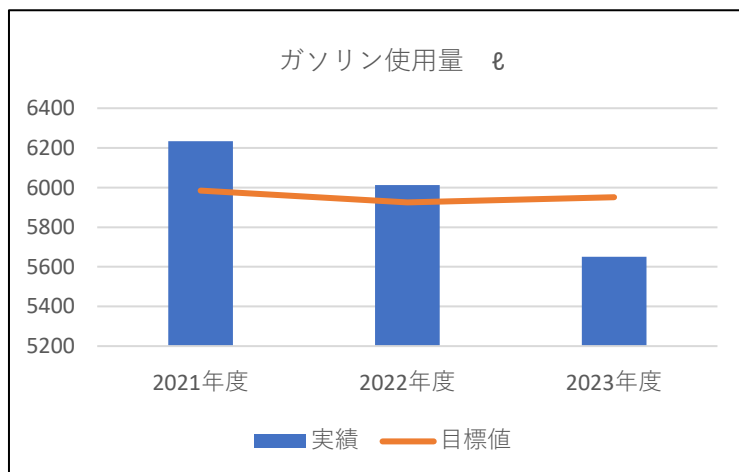


① 電力使用量の削減・・・目標達成

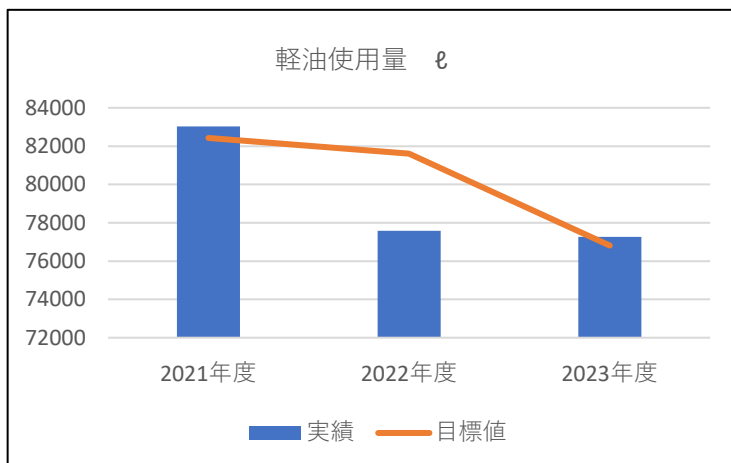


② 燃料使用量の削減

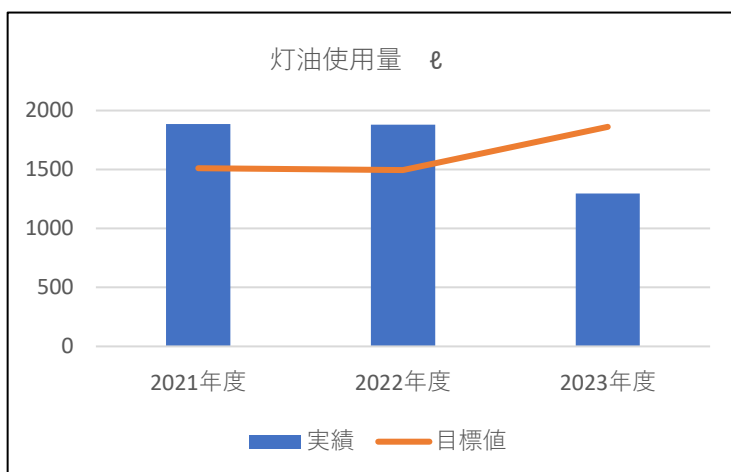
I. ガソリン使用量の削減・・・目標達成



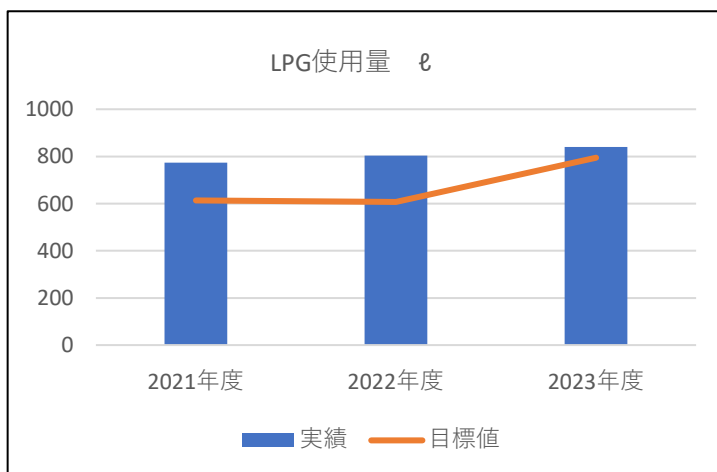
II. 軽油使用量の削減・・・塵芥車による収集運搬時の回収漏れ防止目的で、ルートを2度回る処置を取っている。



III. 灯油使用量の削減・・・目標達成



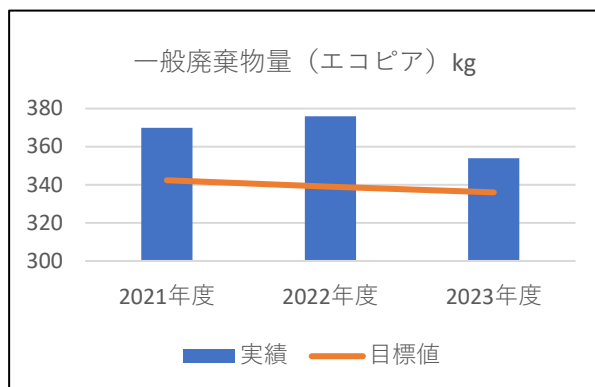
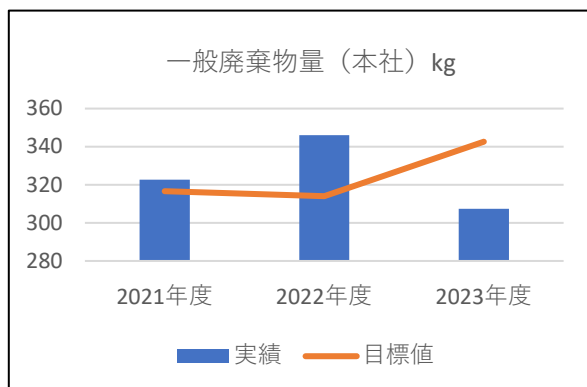
IV. LPG 使用量の削減・・・作業終了後のシャワー利用者数増加が使用量増加に繋がった。



2. 排出廃棄物の削減（ 本社・エコピア ）

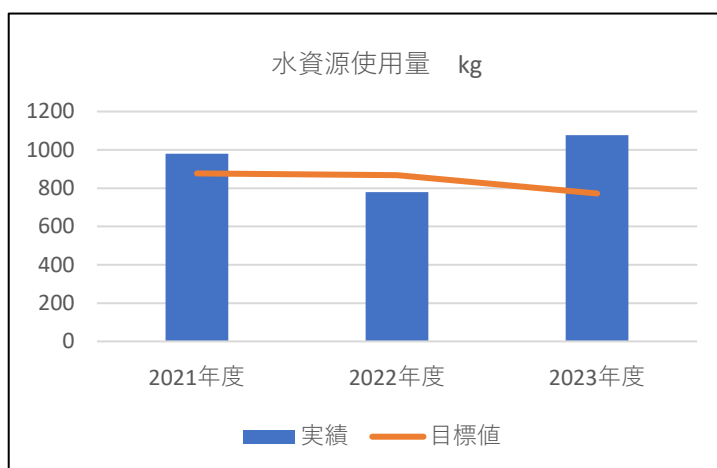
（ 本社 ） 目標達成

（エコピア） 定期的な清掃、片付けを実施したため増加に繋がった。



3. 水資源使用量の削減

・ 作業終了後のシャワー利用者数増加が使用量増加に繋がった。



4. グリーン購入

事務用品等のグリーン購入は、目標を達成しました。

各課からの発注に対して、グリーン購入適合商品等への代替ができました。

5. 本業における環境配慮

啓発活動（環境イベント）の実施については、目標を達成することができませんでした。

イベント開催場所の本施設は止めることのできないライフラインであることから、よぎなく中止判断となりました。 しかしながら、リサイクルを推進、維持するためには住民の皆様の協力は必須であるため、環境イベントのあり方を見直し信頼を頂ける活動を今後も検討してまいります。 そのほか、教育訓練については、感染対策をとりながら縮小規模ではあるが、消火活動などの訓練を実施することができました。

VIII 環境経営活動計画の取組結果とその評価

次年度の環境経営計画

環境経営活動計画の取組結果とその評価

各部門別データを含め、エコアクション21の取組みを機に正確なデータ収集、分析を行っている。

2023年度データを集計し、2023年度実績値は2022年度目標比1%削減を目標とした。

燃料使用量の削減（LPGの削減）及び水資源使用量の削減並びに本業における環境配慮が目標値を達成できなかった。

部門別評価（省資源省エネルギー・3Rの推進・サービス品質の向上）

[評価・・・目標達成 ○ 未達成 × ある程度達成 △]

年度目標達成状況の総括的評価・・・△					
対象項目	対象部門		部門評価	評価内容	総合評価
省資源・省エネルギー並びにCO2削減	本社	総務経理部 営業部 業務部	○	目標達成となりましたが、軽油使用料及びLPG使用量が目標未達成である。	○
水資源使用量の削減	本社	総務経理部 業務部	×	作業終了後のシャワー利用者数増加が使用量増加に繋がった。	×
一般廃棄物の排出削減	本社	総務経理部 業務部	○	目標値達成	△
		エコピア・なかがわ	△	定期的な片付け及び清掃を行うことで増加となった。	
グリーン購入の推進	本社	総務経理部 営業部	○	目標値達成	○
本業における環境配慮	本社	総務経理部 営業部 業務部 エコピア事業部	△	年間3回実施している環境イベントのうち1回は開催場所を変え実施することができたが、本施設開催がコロナ禍の影響により止められないライフラインのため、よぎなく未開催となった。	△

次年度の環境経営計画

1. 廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量の削減

活動項目
アイドリングストップの徹底実施
空ふかしを行わない。
急発進、急加速を行わない。
法定速度の厳守、一定速度運転
車両出庫時の日常点検実施

2. 電力の使用節減による二酸化炭素排出量の削減

活動項目
事務所、車庫休憩室での休憩時間の消灯
未使用時の設備電源 OFF
冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）
省エネ機器への切り替え導入
排風ファン等の使用を控える。

3. 水資源の適正使用への管理

活動項目
車両洗車時、大きなゴミを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する。
給湯使用時のムダをなくす。
トイレタンク容積水量調整による使用量の削減

4. 一般廃棄物の排出削減

活動項目
排出量の管理
紙類の使用量の削減
再生紙の使用推進
両面活用

5. グリーン購入の推進

活動項目
低環境負荷商品（文房具）の購入推進（本社）
低環境負荷商品（コピー用紙）の購入推進（エコピア）

6. 本業における環境配慮

活動項目
教育訓練の実施
啓発活動の実施

Ⅸ 環境関連法規等の遵守状況

1. 環境関連法規の遵守状況

関連法規	違反訴訟の有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	違反なし
家電リサイクル法	違反なし
自動車リサイクル法	違反なし
騒音規制法	違反なし
道路交通法	違反なし
指定管理者条例	違反なし
那珂川市個人情報保護条例	違反なし
那珂川市情報公開条例	違反なし
那珂川市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	違反なし
那珂川市一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例	違反なし
フロン排出抑制法	違反なし
労働安全衛生法	違反なし
消防法	違反なし

2. 違反、訴訟の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はありません。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去5年間ありませんでした。

Ⅹ 代表者による全体の取組状況の評価と見直し、指示

弊社の事業活動は、止められない業種ということもありコロナ禍で学び、危機的な状況化に陥ってもBCP（事業継続）計画を実施することで余剰がうまれ、住民サービスの拡大及び展開、更に既存業務を幅広く実行していく体制づくりが定着してきました。

本年度においては、LPG使用量、水資源使用量が目標未達成でしたが、従業員保護や設備変更が要因な為、内容としては、ほぼ満足できる結果だと考えています。

来期は、更なる住民に寄り添ったサービスの提案、提供及び事業活動に伴った企業価値の向上強化に努め、併せてCO2総排出量の削減に繋がるよう努力して参ります。